

令和2年度3次補正 学びと社会の連携促進事業 (先端的教育用ソフトウェア導入実証事業) 費補助金

## 効果報告レポート

【事業者名】

株式会社LX DESIGN

【ツール名】

複業先生

【ツールの機能分類】

学習支援コンテンツ

2022年2月



#### ツールの特徴

LXDESIGNが提供する「複業先生」は、複業で先生をしたい人と学校をつなぐ学校教育特化型外部人材活用プラットフォーム。EdTech補助金の取り組みとして、以下の3種類のサービスを学校様に提供した。

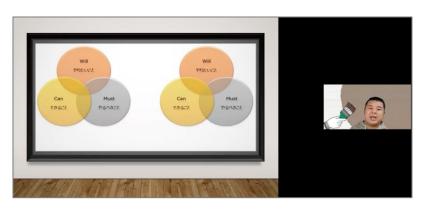
- ①「複業先生」に登録している外部講師へのインタビュー動画アーカイブの提供。弁護士・起業家・医師・芸術家・キャリアデザイナーなど、多様な職種の外部講師が、それぞれの仕事の内容やその仕事を選んだ経緯、やりがいなどについて語った10分程度の動画をオンライン上で公開し、場所や時間に縛られず、生徒さんがさまざまな職業について学べる機会を提供した。
- ②「複業先生」に登録している外部講師による、「月ーLIVE授業」の実施。月一回、90分のオンライン授業を放課後の時間帯に設定し、EdTech補助金参加校の生徒さんが自由に参加できるようにした。
- ③「複業先生」の外部人材を活用した、各校でのオリジナル授業の実施。



①インタビュー動画アーカイブ メインページ



①インタビュー動画アーカイブ 動画スクリーンショット



②月一LIVE授業 授業風景

#### ■ EdTech ツールの概要

#### ツールの特徴

学習効果・業務等に関する効果・価格など

学習環境等に関連する効果

- 時間や場所等の制約を受けず効率的な学習が提供できる
- ・一人一人の特性や進度に応じた学びを提供できる
- ・包摂的かつ公平で質の高い学びを提供できる

学力・資質等に 関連する効果

- ・主体性・多様性・協調性の向上
- ・非認知能力の育成(自分で考え行動する、創造的な人材育成)
- ・非認知能力の育成(学びに向かう意欲を高め、自学を習慣化)

業務効率・利便性等に関連する効果

- ・教職員の業務の効率化等による負荷軽減の実現
- ・教職員のスキル向上や経験不足の補填等により、児童・生徒への指導方法・授業内容を改善

1サービスあたりの標準販売価格

980円/月/生徒 インタビュー動画アーカイブの視聴、月一LIVE授業への参加、 「複業先生」を活用したオリジナル授業の実施が対象 ■ 学校等教育機関の抱える課題

①「総合的な探究の時間」新設やIT活用推進等による授業事例不足

②新型コロナ感染症の拡大による児童生徒と社会との接点減少

③授業準備に加え部活動指導や校務分掌による教員の多忙化

#### ■ EdTech導入補助金2021における活用事例 ①「インタビュー動画アーカイブ」

#### 活用例①: 島本町立第一中学校(中学2年129名)

特別活動の時間の中で、生徒が一人一台の端末からアーカイブにアクセス。自分の興味のある分野の「複業先生」のインタビュー動画を視聴し、感想や学んだことをまとめた(※先方の意向により、授業写真は掲載不可)

#### 活用例②: 関東学院中学校(中学2年301名)

入試休みの宿題として、生徒が自宅よりアーカイブを動画を視聴。生徒はそれぞれ自分の興味のあるインタビュー動画を 視聴し、オンラインフォームに学んだことをまとめた。(※自宅学習のため、写真なし)

#### 活用例③:南砺福野高校(高校2年60名)

日々のショートホームルームを活用し、クラスでインタビュー動画を視聴。視聴後は、簡単なディスカッションを実施し、何を学んだかを生徒同士で共有した。(写真右図の通り)



#### ■ EdTech導入補助金2021における活用事例 ②「月イチLIVE授業」

「複業先生」のサービスを採択していただいた全ての学校(全9校)を対象に、生徒が自由に他校の生徒と学び合える環境を提供するため、下記のようなさまざまなテーマについて学べるオンラインLIVE授業を月一回の頻度で放課後に実施した。また、当日参加できない学校に対しては、録画配信を行った。

#### 授業テーマは以下の通り

9月:キャリア教育2.0~新時代のキャリアの考え方とは?~

10月:海外で活躍する先輩に話を聞こう!

11月:食×SDGsの世界について学ぼう!

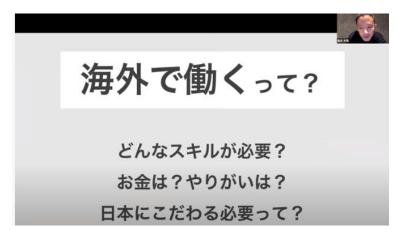
12月: 聴き方が変われば、書き方が変わる!

自分の力で人生を切り拓いていくノート術講座

1月:最先端技術



生徒の参加の様子



講義の様子

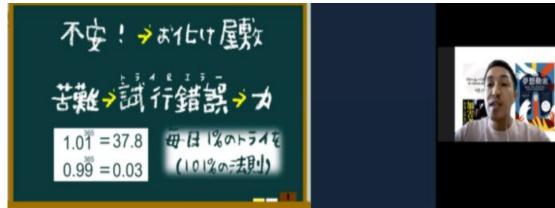
#### ■ EdTech導入補助金2021における活用事例 ②「月イチLIVE授業」

授業内容例(一部抜粋)

9月:キャリア教育2.0~新時代のキャリアの考え方とは?~







LIVE授業講義の様子

#### 職場体験に代わる ICT を活用した



キャリア学習を始めました。

#### 第一回「キャリアについて考えよう」

「職業体験」を行いました。全国で活躍しているゲストティーチャーからオンラインで話を 聞く連続授業を行っています。第1回目のめあては「キャリアについて考えよう」です。

以前リクルートで採用担当をしていた高部先生へのインタビューと Q&A を視聴しました。 現在と昔では働き方に対する社会の変化もあり、これからどのようなことに気を付けていけば 良いのか、どのような努力が必要かなど、学ぶことができたと思います。この講座には、全国 の小中高が参加しています。時間が合えば、Live 授業で講師と双方向のやりとりや、同時に参 加している小学生や高校生とも交流することができるかもしれません。

今後もさまざまなテーマで数回の講義をしていただく予定です。職場に出向き、体験することはできませんが、ICTを活用して学校にいながら「最先端」の情報に触れるチャンスです。 楽しみながら、学んでいきましょう。





【生徒の感想を一部抜粋して掲載します。】

- ・職に就くことがゴールではなくて、就いてからどうするかが大事なのだと思った。
- ・キャリアはトライ&エラーの試行錯誤を繰り返しながら、力をつけていくものだとわかった。
- 高部さんが(最短ルートでも、寄り道ルートでも)どっちも正解と言ってくださったので、少し将来への不安が減りました。
- ・仕事は他人に流されず、自分の意志で決めるべきだと思った。
- ・毎日1.01%と0.99%だと、1年間ではかなりの差があることがわかった。
- ・自由って自分の好きなように生きているからいいけど、いざ自由にしていいよと言われると、 どうしたらいいのかわからなくなる。
- ・生き方は人それぞれであり、正解はないと感じました。
- ・これからは0. | ずつでもチャレンジでいて前に進んで行きたいと思いました。
- ・自分のしたいことを自由に選べるのは難しいけど、より可能性も広がって良いことだと思った。
- ・ | 年間でかなり大きな差がつくと知って、何事にも本気でやろうと思った。
- ・夢をかなえるために毎日 1.01 のトライをしてみたい。

#### LIVE授業に当日参加できなかった 学校の後日活用の様子

#### ■ EdTech導入補助金2021における活用事例 ③「オリジナル授業実施」

#### 学校の要望に合わせて、外部人材を活用した多様な授業を提供



2021年12月 富山県・南砺福野高校と、神奈川県・関東 学院中学校をオンラインで繋ぎ、学校間交流授業を実施 (両校から60名程度の生徒が参加)

講師には、Vtuberのみみたろう氏を招聘し、最新の V-tuberビジネスについて講演をしていただいた。オンラ インで他校と交流できる稀な機会となり、非常に活発な 意見交換が行われた。

#### 社長のお話

<リーダーとして仕事をして楽しいこと>

・自分の強みである、新しい人と出会い、仲間になり、自分が感じる 正義やビジョンをチームに話すこと、一緒に新しいプロジェクトを作 ることが好きだった

<リーダーとして仕事をして学んだこと>

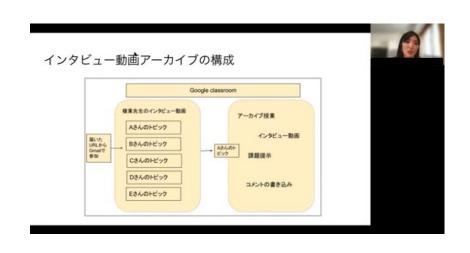
- ・リーダーとして関わってくれる人に心を配ること
- ・矢面に立つこと、すべての責任を取る覚悟
- <リーダーとして仕事をして難しいこと>
- ・難しさを感じた瞬間に相談できる仲間が徐々に生まれてきた
- <リーダーとしてこれからやりたいこと>
- ・メンバーひとりひとりが、今、このタイミングで関わってよかった
- と心の底から思えるチームと時間と体験を提供すること



富山北部高校と山口県新南陽高校の生徒会執行部を対象にリーダーシップに関するオンライン授業を実施。講義後に実施されたブレイクアウトルームセッションでは、コロナ禍で生徒会の活動が制限される中、行事運営に関する悩みや生徒会活動に対する思いなどを生徒同士が共有した。自分達はリーダーとしてどのような存在になりたいのかを振り返るとともに、同じ悩みを抱える生徒同士がつながりあい、非常に盛り上がる会となった。(参加生徒人数24名)

## ● 導入校に対する導入説明会、並びに授業実施時のサポートを実施

ICTに不慣れな教員、生徒が安心して授業が出来るように、導入から授業実施まで教員出身の専属のコーディネーターが伴奏。導入校全でに対し、説明会や個別のカウンセリングを実施し、導入までのサポートを丁寧に行った。また、ZoomやYouTubeなど、各種オンラインツールの使用方法の説明から実際の授業のファシリテートまで包括的に支援することで、教員の負担軽減や授業のスムーズな進行を助け、教室でのEdTechの活用をより気軽に体験していただける環境づくりを実現した。



EdTechツール導入説明会(オンライン)

サポート人員:4名(元教員やIT系企業勤務経験のあるメンバーなど) 問い合わせ対応方法:メール・学期ごとに(必要に応じて)オンライン面 談

通常サービス・・・外部人材のマッチング~外部人材に対する研修、教員との打ち合わせまで

補助事業・・・上記の対応に加えて、学期ごとの面談、オンラインツール 導入サポートや、採択校同士による学校間の学びを提供

#### ■ EdTech導入補助金2021における導入実績

#### ●学校設置者数:8校

学校法人ドルトン東京学園、下田市教育委員会、山口県教育委員会、島本町教育委員会、学校法人関東学院、戸田市教育委員会、富山県教育委員会、株式会社アットマーク・ラーニング

- ●学校数:9校
- ・学校法人ドルトン東京学園 1校

ドルトン東京学園中等部

- 下田市教育委員会 1校 下田東中学校
- •山口県教育委員会 1校 新南陽高等学校
- **島本町教育委員会 1校** 第一中学校

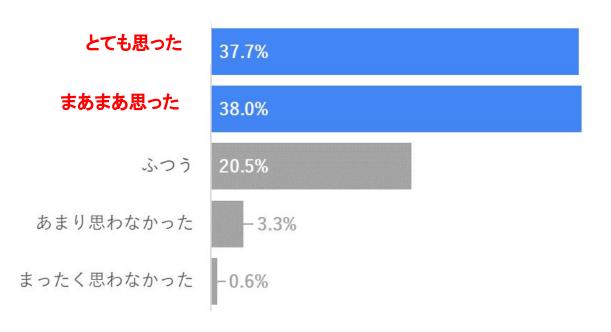
- 学校法人関東学院 1校 関東学院高等学校
- **戸田市教育委員会 1校** 美女木小学校
- •富山県教育委員会 2校 南砺福野高等学校、富山北部高等学校
- 株式会社アットマーク・ラーニング 1校 明蓬館高等学校

#### 生徒への効果

## ● EdTech ツールによる活用効果について分析と考察(対生徒)

76%に将来を考えるきっかけを与え、 72%が社会の変化に興味を示した

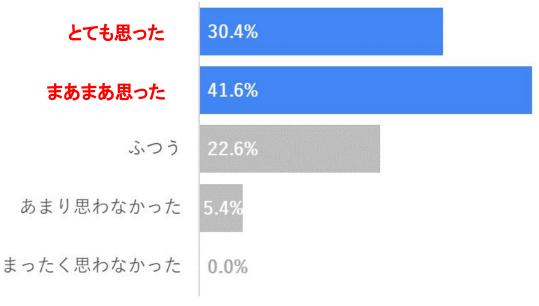
「将来について考えてみようと思ったか?」



#### 【主な生徒の声】

キャリアのことについて考えるいい機会になった 自分たちも将来社会にでていくので学ぶことは大事だと思う

「社会について学んでみたいと思ったか?」



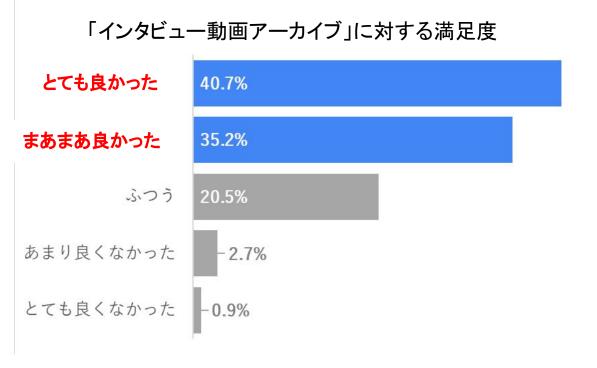
N = 432

#### ■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

#### 生徒への効果

## 76%の満足度、80%の理解度

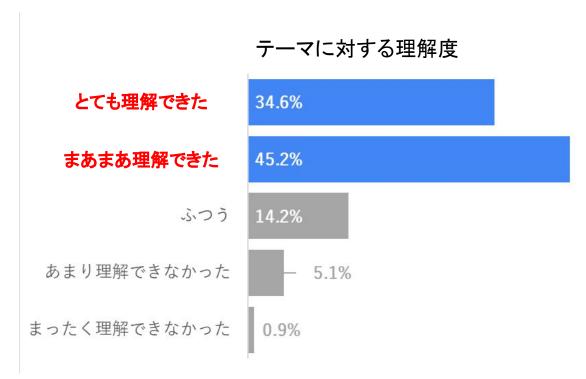
満足度高く、生徒の理解度に合わせた授業提供ができた



#### 【主な生徒の声】

自分では分からなかったことを発見出来た

キャリアとはどんなものなのか知りどんなことが大事か発見できた



N=432

#### ■ EdTechツールを活用した児童生徒のコメント感想等

# 「様々な仕事への 理解・関心」

- どんな仕事にもやりがいがたくさんあることを知った
- ・(新しく職業を知り)自分の将来の幅が広がった
- ・自分のしたい仕事を楽しんでいる大切さを知った

#### 「きっかけ・モチベーション 作り」

- ・他にどのような仕事があるのかを学んでみたい
- 小さいことでもやりたいことをやってみることが大事
- ・「どうして?」を考えていこうと思った

#### 「新しい価値観に出会う」

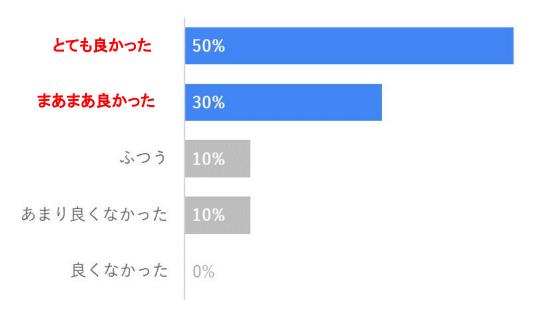
- ・当たり前を当たり前と捉えないことが大事
- ・言葉以外にもダンスで人は通じることができると知って新鮮だった
- ・他の人と自分が作用し合うことできっかけが作られていくことを学んだ

#### 教員への効果

## ● EdTech ツールによる活用効果について分析と考察(対教員)

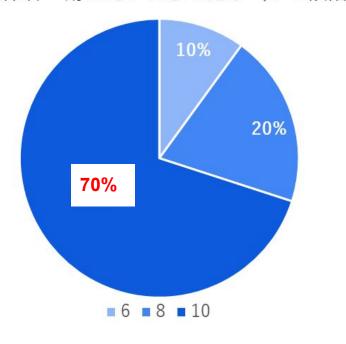
## 70%の教員が高評価

「複業先生」に対する満足度



# 70%が「周囲に強く勧めたい」と回答すべての先生が10段階評価で6以上を選択

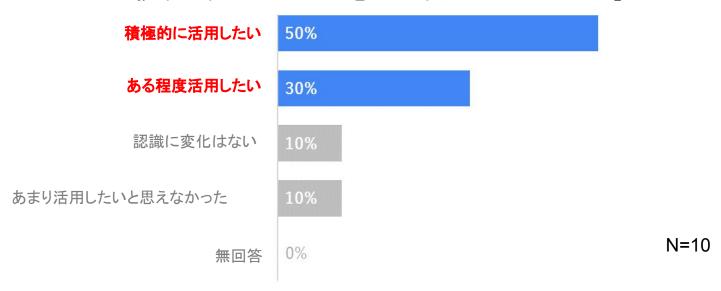
周囲の関係者へ勧めたいと思ったか(10段階中)



N=10 14

### 80%の先生方がテクノロジー活用について積極的な意識へ変化

「授業の中でテクノロジーをもっと活用したいと思ったか」



#### 「生徒の変化を感じる」

「使いやすさ」

- ・生徒たちが出会いとコミュニケーションの大切さに気づいていた
- 自分のキャリアを自ら作り上げるという意識を持つようになった。
- 他校交流では良い緊張感を持ちながらお互いに感じ取るものがあった
- ・動画の時間が短めで見やすく、内容も詰まっていた
- ・教育現場にはなかった様々な人と出会うことが可能になった
- 教員が社会を知るきっかけになる良い教材だと感じた

15

- EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察 / EdTechツールを活用した教員のコメント
- ●当初の設定課題に対する教員の意見
- ①「総合的な探究の時間」新設やIT活用推進等による授業事例不足
  - →「教職員が社会を知るという視点でも大変良い教材だと思います」 「出会いや人との繋がりコミュニケーションが大切だということがメッセージに込められており、 学校教育で大切にしていきたいことに戻ってくる。とてもいい教材だと思います。」

#### ②新型コロナ感染症の拡大による児童生徒と社会との接点減少

→「教育現場にはなかった様々な人と出会うことが可能になった」
「コロナ禍であっても、様々な方と交流することができ、生徒の学びを深めることができるから」
「特にこのコロナ禍で人との交流が希薄になる状況で、様々な人と気軽に出会うことができる」
「オンラインの発達で、出向かなくてもどんどん知る機会が得られて非常に意義深い」

#### ③授業準備に加え部活動指導や校務分掌による教員の多忙化

→「授業準備の時間が削減できる」 「情報を一斉におろせるため、時間のロスが少ない」 「日々の業務がある中で、企画を設定してくれるのは有難い」

#### ■ EdTechツールの導入・運用における課題とその改善策

#### 【EdTechツールの導入・運用における課題】

- 学校側の回線状況から、オンラインLIVE授業がスムーズに行えなかったり、セキュリティの観点から Google Classroomが使えない学校が多かった
- 既存のカリキュラム・スケジュールとの整合性をとるのが難しかった
  - 4月の時点で既に学校側で一定のスケジュールが作られており、限られた授業時間の中で「複業先生」を月1回以上のベースで利用してもらうことが難しかった
  - 学校の業務体制の観点から、学年や全校で合意形成・連携体制を取ることが難しく、「複業先生」の 活用が他学年でなかなか進まないことがあった

#### 【上記を解決するための改善策 】

- Google ClassroomからYoutubeへ、使用するソフトウェアを変更した。
- 教育委員会にシステムの不備を報告してもらい、改善を進めた
- 担当コーディネーターを配置して、連携校とより密にコミュニケーションを取ることで、それぞれの学校が 独自で用意しているカリキュラムとの整合性を高めていった
- 窓口となっている教員の方から学年主任・進路部主任など管理職への連携を強め、他学年や別教科で 積極的に「複業先生」を活用していただけるようにチャネルを整備した

# LX DESIGN

■ 会社名 株式会社LX DESIGN

■ 代表取締役 金谷 智

■ 従業員数 21名(業務委託者含む)

■ 住所 東京都千代田区麹町1-4-4-2F

■ 資本金 100万円

■ 会社URL <a href="https://www.lxdesign.me/">https://www.lxdesign.me/</a>

■ サービスURL <a href="https://www.fukugyo-sensei.me/">https://www.fukugyo-sensei.me/</a>

■ 問い合わせ窓口 <u>info@lxdesign.me</u>

■ 売上高 3,795,575(円)

■ 経常利益 △3,658,942(円)



~複業で先生をしたい人と学校をつなぐ~

テクノロジーとコミュニティによる教育業界のアップデートをミッションとし、外部人材活用支援プラットフォーム"複業先生"を運営している。

複業先生は"スポット授業提供"に特化した、若年層向けオンライン教育プラットフォームで、学校向けサービスから始まり、 塾などの学校外教育施設、個人向けの提供も開始。探究学習、キャリア教育、プログラミング、部活動など、広範囲をカ バーしている。